



竹松ものがたり

やさしく かしく たくましく

令和6年9月19日
大村市立竹松小学校
発行 石司 貴弘



自分の命を守る学習 ～避難訓練～

子供たちの眼と心が見事なまでに担任に向かっていることがわかります。後ろ姿からも「先生の言葉を聞き逃すまい」「命を守る…大切な学習だ」そんな緊張感が伝わってくる**3年1組**の学習風景です。学校では、原則として学期に1回の避難訓練を行っています。今回は、地震を想定して事前指導を行ったうえで避難するという学習をしました。

「緊急地震速報」校内放送を聞いて…

①姿勢を低く保つ ②頭を守る ③動かない → **シェイクアウト訓練**

揺れがおさまったのを確認して、安全な場所(運動場)に避難する

①おさない ②かけない ③しゃべらない ④もどらない → **安全な避難**

教室での事前指導では、上記のことを確認しました。頭ではわかっていることかもしれませんが、パニック状態になると何をどうすればよいのかわからなくなってしまいます。だから、考えることなく体が自然に動くように繰り返して練習を行うのです。

大雨、地震、火災、台風などなど、日本各地で毎年のように災害が起こっており、それによって尊い命が失われています。台風による大雨や暴風の災害はある程度は予測することができ、備えることができます。しかし、地震は、いつ・どこで起こるのかを正確に予測することは困難です。

◇学校で先生や友達と一緒にいる時

◇家に1人でのいる時

いつ、どこで起こったとしても、**命**を守る行動がとれるようになって欲しいと思います。大人(親や教師)は、子供たちに判断力や行動力を身に付けさせなければなりません。

3年1組の子供たちは、「本当に地震が起こったら…」と、**自分事**としてとらえ、訓練に臨みました。このように本気になって身に付けたことが、いざという時に役立つと信じています。



学校で起こっている問題^おについて考えよう！^{もんだい} あなたはどう思いますか？^{かんが} ^{おも}



先生！ ちょっと来てください！
バスケットコートがたいへんな
ことになってます！

8月9日（金曜日）の朝、平和集会のために登校してきた2年生が大声で私を呼ぶのです。

何事だろう？…と駆けつけてみると、運動場の端に

あるバスケットボールコートとプールの間の溝にもものすごい数のゴミが捨てられているのです。

（※美しい写真ではないのでためらいもありましたが、事実をお伝えしたくて掲載しました。）

腹の底から「怒り」がこみ上げてきましたが、自分の手が汚れるのも構わずに一心に拾い集める2年生を見たら、怒るのではなく、ゴミを捨てさせない方法を考えよう…と気を取り直しました。たった一日でこれだけのゴミが落ちています。ご覧いただいてわかるように、ペットボトルや缶などの飲み物の容器が多く、中身を飲んだらその場にポイ捨てしていることがわかります。

さらに、怒りを乗り越してあきれてしまうのが
タバコの空き箱と吸い殻です。（右の写真）これらを捨てたのは子供でしょうか？いやいやそれは考えにくい。こんなことが平気でできる大人がいるのだろうか？そう思いたくはないですが…。



このような状態を、子供たちはどう見るのでしょうか？

『「きれいな学校にしよう」「ゴミのポイ捨てはやめよう」…なあんて言うけれど、大人も捨てるじゃない。』 そんな気持ちになってしまうのではないかと、とても心配になります。

竹松小学校の児童の中には、毎日ゴミを拾いながら登校してくる子がいます。しかし一方で、みんなが大切にしている学校の敷地内にゴミを残していく人もいます。残念でなりません。私たち学校職員は、「**美しさを愛し、みんなで使う物・場所を大切にする子供**」を育てたいと思います。そのために、私たち大人ができることを、それぞれの立場で考え、実践したいと思うのです。

転入職員紹介

どうぞよろしくお願ひします



事務職員 北川 修
(きたかわ おさむ)
前任校：喜々津小学校

子供たちの学習環境整備などの業務を担っていただきます。主に事務室で執務を行っています。



SSS(スクール・サポート・スタッフ)
松尾かおる

教職員の教育活動の支援とともに、PTA関係の事務などを担当していただきます。



ALT
Necib Saif
(ネシブ・セイフ)

松原小・郡中学校との兼務です。楽しい外国語活動・外国語科の指導を行っています。